



ライセンス使用レポート

- ・ [ライセンス使用レポート \(1 ページ\)](#)

ライセンス使用レポート

ライセンス消費レポートには、特定の間隔で次のようが表示されます。

- ・ 最大のエージェントの合計に記録されます。
- ・ ログインした企業エージェントの最大数。
- ・ ログインした Webex CCE エージェントの最大数。
- ・ ダイアラー ポートと消費 VRU ポートの最大数。

ライセンス使用レポートでは、15 分単位、30 分単位、日単位、時間単位、月単位、四半期単位、および週単位でこのデータを表示できます。

クエリ：このレポートのデータは、ストアプロシージャから作成されます。

ビュー：このレポートには、1つのグリッドビューと1つの折れ線グラフビューがあります。線グラフビューは、一般的なスケールに対して時間をかけてすべてのライセンスを取得できる項目ライセンスの使用状況を表示します。



- (注) ライセンス消費レポートは、レポートで急なスパイクを抑制することができます。抑制するスパイク機能を提供します。このレポートは、95 のパーセンタイルの範囲を越えて、異常に高いスパイクが除外されることを確保するため標準の 95 パーセンタイルアルゴリズムを使用します。スパイクの抑制機能を使用して生成されたレポートのみを示しているし、エージェントライセンス目的のピークのライセンス消費を決定するためはありません。

グループ化このレポートでは、グループ化はサポートされません。それは、日付と時刻で並べ替えられます。

値リスト：頻度

データの取得元となるデータベーススキーマテーブル：System_Capacity_Interval



(注) ライセンス消費レポートをインポートしているときに、次の操作を行います。

- [レポート定義のデータソース (Data Source for ReportDefinition)] フィールドで、[UCCE Historical] を選択します。
- [値リストのデータソース (Datasource for ValueList)] フィールドで、[CUIC] を選択します。

ライセンス消費グリッドビューで現在のフィールド

現在のフィールドは、このレポートのグリッドビューにデフォルトで表示されるフィールドです。

次の表に、デフォルトでレポートに表示される順序(左から右)で、[現在]フィールドを示します。

| カラム (フィールド) | 説明 |
|-------------------------|--|
| システム日時 | 選択した行のレコードの日時(MM/DD/YYYY(月、日、年)およびHH:MM:SS(時、分、秒)形式)。 |
| ログインしたエージェントの最大数 | |
| エージェントの合計 | 指定したインターバルでログインした Enterprise エージェントと Webex CCE エージェントの合計最大数。 導出方法 : System_Capacity_Interval.MaxagentsLoggedin |
| Enterprise エージェント | 指定した間隔でログイン企業エージェントの最大数。 次の数式で導出: $(\text{System_Capacity_Interval.MaxagentsLoggedin}) - (\text{System_Capacity_Interval.MaxICMAgents})$ |
| Webex CCE エージェント | 指定したインターバルでログインした Webex CCE エージェントの最大数。 導出方法 : System_Capacity_Interval.MaxICMAgents |
| カラム (フィールド) | 説明 |
| 消費最大 VRU ポート | 指定した間隔で使用する VRU ポートの最大数。 導出方法 : System_Capacity_Interval.maxvruports |
| 消費最大ダイヤラーポート | 指定した間隔で使用するダイヤラー ポートの最大数。 導出方法 : System_Capacity_Interval.FutureUseInt2 |

レポートサマリー：サマリー行には、ライセンス対象製品ごとに、対応する列の最大値が表示されます。

ライセンスの使用グラフビュー

ライセンス使用グラフビューには、ライセンス使用可能なすべてのアイテムに対するライセンス使用率が、一般的な尺度に対して時間経過に沿って表示されます。

現在のフィールドは、このレポートの折れ線グラフビューにデフォルトで表示されるフィールドです。

現在のフィールドの一覧を次の表に示します。

| カラム(フィールド) | 説明 |
|-----------------|--|
| ライセンスを取得できるアイテム | Y軸上のライセンス可能な項目。グラフには、ICMエージェント、エンタープライズエージェント、ログインしたエージェント合計数などのエージェントの最大数と、使用されたダイヤレポートの最大数、使用されたVRUポートの最大数が表示されます。 |
| システム日時 | X軸上のシステム日付と時刻。 |

フレックスライセンスの使用ビュー

[フレックスライセンスの使用 (Flex License Consumption)] ビューには、フレックスプレミアムおよびフレックススタンダードライセンスの使用状況が表示されます。ビューは、15分単位、30分単位、時間単位、日単位、週単位、月単位、四半期単位のインターバルでフィルタ処理できます。

フレックスライセンス使用ビューのフィールド

現在のフィールドは、ストックテンプレートから生成されるレポートにデフォルトで表示されるフィールドです。

以下の表に、デフォルトのフィールドをストックテンプレートに配置されている順序で示します。

| カラム(フィールド) | 説明 |
|-------------------|------------------------|
| システム日時 | システム日時。 |
| フレックスプレミアムエージェント | ログインしたプレミアムエージェントの最大数。 |
| フレックススタンダードエージェント | ログインした標準エージェントの最大数。 |

| カラム(フィールド) | 説明 |
|--------------|---|
| 消費最大 VRU ポート | 使用された VRU ポートの最大数。 |
| エージェントの合計 | 指定したインターバルでログインした Enterprise エージェントと Unified CCE エージェントの合計最大数。 導出方法： System_Capacity_Interval.MaxagentsLoggedin |



- (注) [フレックススタンダードエージェント (Flex Std Agents)] のサマリー値は、[エージェントの合計 (Total Agents)] と [フレックスプレミアムエージェント (Flex Premium Agents)] の差です。

無期限ライセンスの使用ビュー

[無期限ライセンスの使用 (Consumption License Consumption)] ビューには、永続的ライセンスの使用状況が表示されます。ビューは、15分単位、30分単位、時間単位、日単位、週単位、月単位、四半期単位のインターバルでフィルタ処理できます。

無期限ライセンスの使用ビューのフィールド

現在のフィールドは、ストックテンプレートから生成されるレポートにデフォルトで表示されるフィールドです。

以下の表に、デフォルトのフィールドをストックテンプレートに配置されている順序で示します。

| カラム(フィールド) | 説明 |
|----------------|---------------------------|
| システム日時 | システム日時。 |
| 無期限プレミアムエージェント | ログインした無期限プレミアムエージェントの最大数。 |
| 消費最大ダイヤラー ポート | 使用されたダイヤラポートの最大数。 |
| 消費最大 VRU ポート | 使用された VRU ポートの最大数。 |

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。